

# 第96回 メーデー石巻地方大会

日時：2025年4月29日（火）10:00～

場所：石巻中瀬公園つどいの広場

《 大会次第 》

## 【第1部】

- 開会宣言
- 大會議長団選出
- 実行委員長挨拶
- 来賓挨拶・紹介
- 祝電及びメッセージ披露
- スローガン確認
- メーデー宣言
- 特別決議
- 大會議長団退任
- 閉会宣言
- ガンバロー三唱

## 【第2部】

メーデー大抽選会

## 【第3部】

◆デモ行進◆

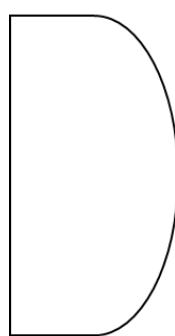
スタート：中瀬公園～ゴール：石巻駅前

《第96回メーデー石巻地方大会実行委員会》

◇協賛◇ 「石巻労福協」「東北労働金庫石巻支店」「こくみん共済 coop 宮城推進本部石巻支所」



整列順序



退職者連合
U A ゼンセン
自治労
自動車総連
J A M
紙パ連合
J P 労組
電力総連
運輸労連
私鉄総連
フード連合
全農林
海員組合
全水道
全労金
地域ユニオン
上記以外の組合

# メーデー大抽選会

## 景品内容

<b>A賞 1名</b>	ダイソンコードレス掃除機	<b>B賞 1名</b>	Nintendo Switch Lite (ブルー)
<b>C賞 1名</b>	32型 液晶テレビ	<b>D賞 1名</b>	お米 30 kg
<b>E賞 1名</b>	COSORI ノンフライヤー	<b>F賞 2名</b>	折りたたみ式自転車 (オレンジ)
<b>G賞 3名</b>	お取り寄せギフト		

**A賞 1名** ダイソンコードレス掃除機

**B賞 1名** Nintendo Switch Lite (ブルー)

**C賞 1名** 32型 液晶テレビ

**D賞 1名** お米 30 kg

**E賞 1名** COSORI ノンフライヤー

**F賞 2名** 折りたたみ式自転車 (オレンジ)

**G賞 3名** お取り寄せギフト

◆H賞 日本製紙クレシアギフト 10本

◆I賞 商品券 10000円 2本

◆J賞 商品券 5000円 10本

◆K賞 商品券 3000円 15本

◆特別賞 2本



## 第 96 回メーデー石巻地方大会 宣言(案)

本日、私たちは第 96 回メーデー石巻地方大会を開催した。

東日本大震災から 14 年が経過し、私たちは、過去に学び、<sup>いま</sup>現在を考え、<sup>あした</sup>未来を見据える節目の年にしなければならない。

能登半島地震発災から 1 年が経過した。

未だ被災地・被災者は平穏な日常を取り戻せていない。阪神・淡路大震災から 30 年。この間、幾多の自然災害に見舞われ、年々激甚化・頻発化している。一人ひとりが防災・減災の意識を高め備えなければならない。

私たちは、災害の記憶を風化させることなく、被災地・被災者に寄り添った支援を継続しこれからも支え合い・助け合い運動を展開していく。

戦後・被爆 80 年。決して戦争の記憶を風化させてはならない。

世界は今、「対立と分断」の道を突き進んでいる。戦後の多国間主義や国連中心主義が揺らぎ、世界経済や国際秩序は混沌の度合いを増している。私たちは、働くものの雇用やくらしを守るとともに、世界の働く仲間と連帯を強め、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和運動を力強く進めていく。

私たちは、賃上げがあたりまえの社会をめざし、2025 春季生活闘争を展開している。

企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を正と労務費を含む適切な価格転嫁、適正取引を徹底し、地場の中小企業や、労働組合のない中小・小規模事業所にも賃上げのすそ野を広げていかなければならない。

労働組合があるからこそ要求し、労使対等な交渉が可能となる。労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させ、仲間づくりを強力に推し進めていく。

普通選挙法の成立から 100 年。女性参政権が認められて 80 年。そして男女雇用機会均等法施行から 40 年。私たちは、自由・平等・公正で平和な社会をめざしてきた。引き続き、信頼ある政治の実現をめざすとともに、一人ひとりが尊重され、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない社会をともに築いていこう。

次代につなぐ 平和の願い！

みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来を！<sup>あした</sup>

以上、ここに宣言する。

2025 年 4 月 29 日  
第 96 回メーデー石巻地方大会



## 第 96 回メーデー石巻地方大会 戦後・被爆 80 年 次代につなぐ平和の特別決議（案）

2025 年、戦後・被爆 80 年となる。

80 年前、第二次世界大戦により、世界で約 8 千万人が犠牲となった。人類史上、初めて広島に、そして長崎に投下された原子爆弾は計り知れない破壊と苦しみをもたらした。

今なお、戦禍の傷跡や痛みは癒えていない。私たちは、不戦の誓いのもと、働く仲間が連帯し、平和・人権・民主主義を守る歩みを進めている。

ウクライナ、パレスチナ、ミャンマーなど、世界では戦争・紛争や人権侵害が起きている。なんら罪のない多くの人々は苦しみ、依然として核兵器の脅威は存在している。戦禍の記憶を風化させることなく、武力ではなく、対話と信頼の関係構築を通じ、戦争や核兵器のない世界、持続可能な世界の実現に向けて、私たちは、不断の努力を続けなければならない。

昨年、被爆者の立場で「核兵器なき世界」を訴え続けた日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは、「対立と分断」を深める世界への警鐘である。

「一発の原子爆弾は私の身内 5 人を無残な姿に変え一拳に命を奪いました。その時目にした人々の死にざまは、人間の死とはとても言えないありさまでした。たとえ戦争といえどもこんな殺し方、こんな傷つけ方をしてはいけないと、私はそのとき、強く感じたものであります。」

これは、日本被団協・代表委員の田中熙巳（たなか てるみ）さんの言葉である。

戦争は最大の人権侵害である。

今を生きる私たちの責任として、戦争の悲惨さと平和の尊さを次代に継承していくなければならない。

戦後・被爆 80 年の今、世界がより良い未来へと向かうための行動と平和の誓いを新たにし、次代につなぐ平和の決議とする。

2025 年 4 月 29 日  
第 96 回メーデー石巻地方大会